

【事業名】EVバッテリーの迅速な残存性能判定

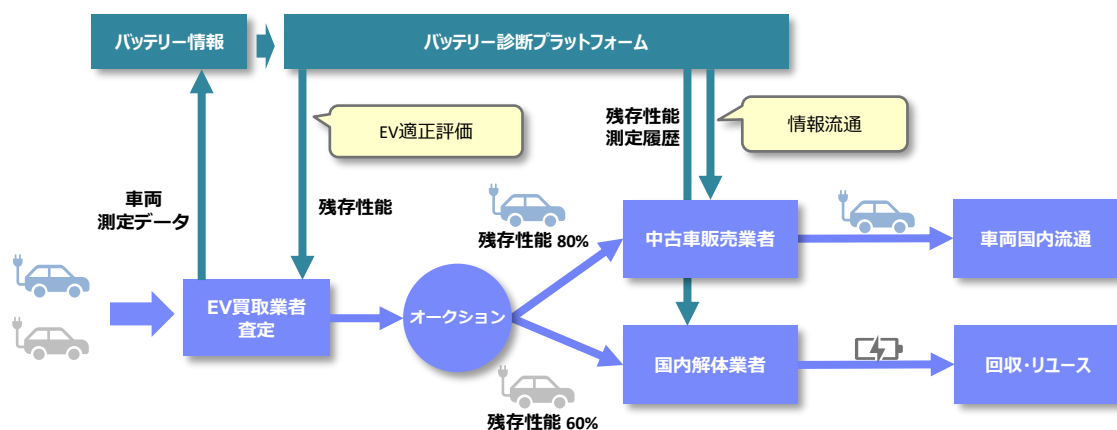
事業者名：東洋システム株式会社

実施期間：令和3年7月～令和4年2月

1. 事業の背景・目的

- EV中古車の査定基準として、バッテリー性能の評価項目は現状含まれていないため、電動車本来の価値が評価されず、同年式のガソリン車と比べ、平均的な価格下落率も数%下回る傾向となっている。
- よって、バッテリー残存性能評価プラットフォームを用いた、適切な中古EVの価値評価を行うスキーム構築の検証を行う

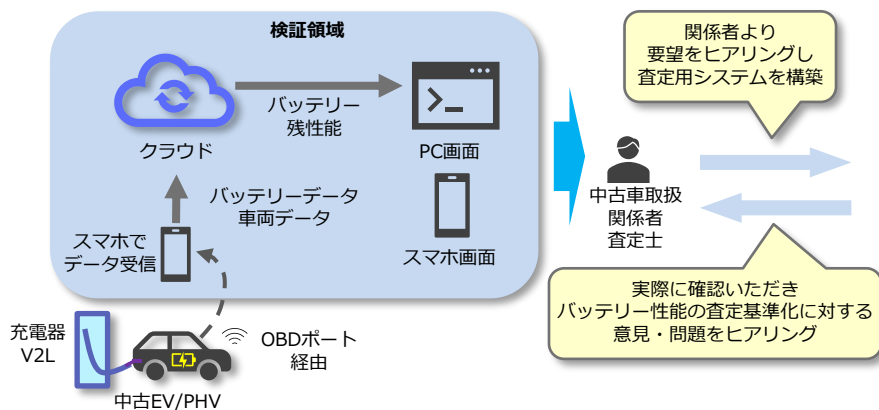
目指す姿：電池性能を使い切る世界の創出



2. 補助事業の概要

バッテリー性能測定の実施に対する課題抽出のため、要件定義・システム構築・課題ヒアリングを通じ測定標準化に向けた検証を行った。

バッテリー診断構想図



構築したシステムによる解析例



検証により明確になった課題

- 出品者・応札者の立場により指標の重要性が変わるため、両者が納得できるスキーム構築が必要
- 査定現場に測定に必要な機器を揃えづらいため、現場環境を見込んだ測定方法の確立が必要
- EVのOBD統一規格は存在しないため、データ入手性、入手コストの観点で規格統一化・または統一化されたデータソースからの入手方法の確立が必要